

図画工作科 授業改善推進プラン

1 児童の実態（課題）

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
・はさみやのり、クレパスなどの用具の基本的な使い方ができた。 ・絵の具の使い方が身に付いていない児童がいる。	・絵や立体、工作に表す活動を楽しみながら、意欲的に作品に作りに取り組んでいる。 ・自由に想像を膨らませた表現より、教科書や黒板の見本を基にした表し方をする児童が多い。自分なりにどのように表すかを考えて工夫することに、難しさを感じている。	・表現することを楽しみ、制作活動にとても意欲的な児童が多い。 ・わくわくする気持ちから、集中して話を聞くことがなかなかできないため、指導が通りづらい。 ・描画材の基礎がまだ身についていないが、意欲に溢れるので、どんどん吸収していく。	・平面も立体も意欲的に取り組み、新しい材料や技法に対しての知的好奇心が高い児童が多い。 ・細かな表現が苦手な児童が多い。集中して取り組む作品を苦手とする。 ・準備、片付けを協力して行うことができる。	・意欲的な児童と、そうでない児童の差が大きい。 ・いろんな材料に触れてみたいという意欲は全体的に高い。 ・表現力が豊かで色彩感覚が高い児童が多くいる。	・個別に声掛けや助言をすると、素直に反応し、取り組む児童が多い。 ・作品に対してまっすぐ向き合う児童が多い。 ・用具（はさみ・のり・水彩絵の具）を正しく使うことができない児童がいる。

2 課題や授業の改善策

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
知識・技能	・表したいことに合わせた材料や用具を使い、基本的な技能を身に付けさせる。	・いろいろな形や色があることに気付かせ、多様な表し方があることを示す。 ・手や体全体の感覚を働かせることや、基本的な画材や道具の使い方を身に付けさせる。	・材料や素材の表せる感じに触ったり並べたりする試し行動の時間を多くとり、発見を促す。 ・板書や掲示物を工夫し、用具や素材などの安全で基礎的な使い方を毎時間確認できるようにする。 ・表したいことに合わせて描画材の使い方を変えられるよう基礎を何度も復習する。	・高い知的好奇心を生かし、児童間での鑑賞の時間や、自分たちで発見できる試しの時間を多く設ける。 ・細かな表現はスモールステップで指導し、苦手意識を生まないよう取り組む。	・試しの活動を多くとる。自分たちから発見できるよう、色の重なりや変化、動き、奥行き、バランスを捉えられるように活動時間を確保する。 ・表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、既習内容を生かした題材を提示する。	・表したいことに合わせて描画材料を選択できるように、掲示物など工夫し、表現の確認ができるようにする。 ・表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、描画材料の基礎、応用を復習する。
思考・判断・表現	・児童同士の交流や教師のアドバイスを通して、表したいことや表し方などについて考えられるようにする。	・いろいろな形や色、友達の作品など、多様な表現方法に触れさせることで、自分の見方や感じ方を広げさせ、自分なりのイメージや発想をもてるようにする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。	・参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ・適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。
主体的に学習に取り組む態度	・制作過程の鑑賞や協力しながら作成する場面を設定する。	・つくり出す喜びを味わうとともに、いろいろな形や色などに関わることで、自信をもって表現できるようにする。鑑賞の活動を通して、学級内でも、互いの作品を認め合う雰囲気を大切にする。	・クロッキー帳を使用し、自己の活動の見通しや、振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切にする。 ・造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいこと思いを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。	・クロッキー帳を使用し、自己の活動の見通しや、振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切にする。 ・造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいこと思いを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。	・クロッキー帳を使用し、自己の活動の見通しや、振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切し、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。 ・造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。	・クロッキー帳を使用し、自己の活動の見通しや、振り返る機会の充実を図る。 ・形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切し、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。 ・造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。

※重視する内容は、網掛けで強調する。